

報道関係者各位

発行 No.64103

2015年10月13日

株式会社東陽テクニカ

MTI Instruments 社製
静電容量変位センサ「Accumeasure D」販売開始
～ 測定距離をユーザーが変更できる独自の新技术を搭載 ～

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝、以下 東陽テクニカ）は、変位センサのリーディングカンパニーである米国 MTI Instruments 社の静電容量変位センサ「Accumeasure D」を本日 10 月 13 日より販売いたします。

【高性能・使い易さのニーズに応えた、新世代の静電容量変位センサ】

一般に静電容量変位センサとは、様々な種類がある変位センサの中でも 1 マイクロメートル以下の測定分解能をもつ高精度の変位センサです。導体の金属や半導体のシリコンウエハなどの高さや厚みを測定するために広く使われています。

微細化を続ける半導体やスマートフォンなど小型化・複雑化している製品の研究開発ならびに製造の現場では、より精密な測定が求められるようになってきています。

「Accumeasure D（アキュメジャー ディー）」は最高 0.1 ナノメートルの安定した測定分解能を有し、最先端の精密測定が求められる半導体分野での要求にも応えることができます。また、USB もしくはイーサネットでパソコンと直接接続してデータを取得することができるため、データ収録器は必要ありません。さらに、従来品では測定用途ごとに異なるプローブを用意しなければなりませんが、「Accumeasure D」は独自の新技术を搭載し、一つのプローブで測定できる距離をユーザー側で変更できるため、様々な用途の測定が一つのプローブで行えます。このため、ユーザーは小規模かつ低コストのシステム構成で高精度・多用途な測定ができます。従来品では測定することができない絶縁体のサファイア基板なども測定できます。

【主な特長】

- ・ ナノメートルオーダーの測定分解能
- ・ ユーザー側で測定レンジの変更可（独自の新技术）
- ・ デジタル出力でパソコンと直結し、データ保存



静電容量変位センサ「Accumeasure D」システム

【製品データ】

製品名： 静電容量変位センサ「Accumeasure D」
標準価格： 100 万円（税別）～
販売目標： 初年度 4,000 万円、次年度 8,000 万円
販売日： 2015 年 10 月 13 日

東陽テクニカは今後も、最先端の静電容量変位センサの提供を通じ、日本産業の発展に貢献して参ります。

<MTI Instruments 社について>

1961 年に MTI 社（Mechanical Technology, Inc.）のセンサ部門が独立し、米国ニューヨーク州オールバニに設立。1968 年に世界で初めて光ファイバを用いた変位センサを出荷したほか、静電容量変位センサ、レーザー変位センサのリーディングカンパニーとして活動しています。

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、昭和 28 年の設立時より「技術と情報」をキーワードに日本の技術発展に寄与することを使命として、主として最先端の「測るツール」を欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の研究・開発者に提供してきました。さらに、「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー、トレーニングなどの取組みは、460 名を超える全従業員の約 8 割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。

東陽テクニカ Web サイト：<http://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 機械制御計測部 栗原 大

TEL：03-3245-1242（直通）

E-mail：ele2@toyo.co.jp

「Accumeasure D」サイト：<http://www.toyo.co.jp/mecha/products/detail/mti-ad.html>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。